



国際部門は国外の日系・非日系企業、金融機関、各国政府・公営企業等との取引、ならびに国内で展開しているグローバル非日系企業取引を担当しています。平成13年度の主な成果および平成14年度の注力ポイントは以下のとおりです。

前年度の成果

(1) 海外拠点統合等による合併効果の早期実現

単なる重複拠点の統合にとどまらず、重複業務の効率化、非戦略的拠点・出資先の整理を積極的に進めました。結果としてお客さまへのサービスの質を低下させることなく、大幅なコスト削減を実現しました。

(2) 国内業務部門との連携による海外日系企業取引拡大

国内業務部門(企業金融部門・法人部門)との情報共有体制および投資銀行部門などの各種プロダクト担当部によるサポート体制の確立を通じて、合併により飛躍的に拡大した優良な日系顧客基盤を背景に、海外日系企業取引(主に為替取引・預金取引)の拡大を実現しました。

(3) 資金管理支援ビジネスの拡充

アセットにとらわれない業務としてお客さまの資金管理を支援するビジネスの推進、プロセッシングサービス能力の向上に努めました。

国際CMSの契約社数はアジアを中心に大きく伸長したほか、クリアリングサービスやカストディ業務を通じた手数料収入も増加しました。

(4) 国内で展開しているグローバル非日系企業取引の進展

グローバルに展開する非日系企業との取引において、海外での取引のみならず、グローバル非日系企業の日本支社、ならびに子会社の取引を促進していくことは大変重要な意義を持ちます。こうしたグローバル非日系企業を専門に担当する国際法人営業部は、本社取引を有する海外拠点との緊密な連携による顧客ニーズの的確かつ迅速な認識、また本社との直接コンタクトなど、グローバルリレーションシップをフル活用することで取引規模を拡大させました。

国際部門にとって平成13年度は拠点統合の早期完了をテコに、より効率的な業務体制の構築と広範かつ優良な顧客基盤の構築に邁進した一年であったといえます。

今年度の注力ポイント

(1) 資産効率改善とノンアセットビジネスへのさらなる注力
資産ポートフォリオの組み替えを積極的に実施し、資産効率の改善を図っていきます。一方で収益の極大化を図るべくアセットを用いない業務の強化にも取り組んでいきます。具体的には、融資慣行の見直しを通じて、リスクに応じたリターンを向上させつつ、流動性の高い資産への組み替えを可及的速やかに進めていきます。また、リスクリターンの高い資産の取り込みにあたってはトレードファイナンス、ストラクチャードファイナンス、プロジェクトファイナンス等のプロダクト業務に一段と注力していきます。アセットを用いない業務強化においては、CMS、クリアリングサービス、カストディサービス、対顧客為替等の業務レベルアップを図るべく、人員面、システム面への経営資源の投入を引き続き積極的に行っていきます。

(2) ライアビリティ業務の取組強化

安定的な資金調達を図るべく、市場営業部門との連携による預金基盤の拡大、特にアジアにおけるCMS業務の拡大による預金増加を中心としたライアビリティ業務に注力していきます。

(3) ライトサイジングの徹底

拠点運営の機動性・効率性をさらに高めるため、一層のライトサイジングを行います。台北支店新設をはじめ戦略的エリアに対する投資を積極的に行う一方で、業務プロセスの見直しによるさらなる効率化も推進し、メリハリの効いた拠点政策を実施していきます。

平成14年度は従来のアセットに依存した業務、収益構造を徹底的に見直し、資産効率の抜本的改善を図るとともに、一層効率的な拠点運営を目指していきます。



カストディサービス提案書

地域別取り組みと他部門、グループ会社との協働

エリアによって異なるマーケット特性、顧客ニーズに対応すべく、米州・欧州・アジアの3地域本部制をとっています。米州・欧州においては拠点の枠にとらわれず、エリア内全域を網羅する形で顧客セグメント別の営業部体制をとっています。営業部は広範かつ優良な顧客基盤を有する「日系企業取引」、永年の営業活動の中で各地域において強固なリレーションを確立している「非日系企業取引」、「先端金融プロダクト業務」と業務別にセグメントされ、それぞれの専門性を活かし、他業務部門やグループ会社との連携をとりながら質の高いソリューションを提供しています。また、アジアにおいては各マーケットエリアによって大きく異なるニーズやリスクに各拠点が柔軟かつ迅速に対応し、邦銀の中でもトップクラスのプレゼンスを有しています。

今後の方針

国際部門における中長期的戦略として、引き続きアセットに依存しない形での収益構造の確立を追究していくとともに、新しいビジネスモデルの発掘を積極的に進め、全行的なビジネスモデルの進化に貢献していきます。また、拠点政策としては、お客さまに提供するサービスを一層充実させるべく、海外金融機関との間で個別サービスについての業務提携を進めていきます。

Opening Balance	Opening Settlement	DEBIT	CREDIT	No.
(11) AA-00001		1,000,000		1
000 AA-00002	000 bank		1,200,000	2
000 BB-00001		1,300,000		3
000 CC-00001		1,300,000		4
000 DD-00001	000 bank		1,400,000	5
000 EE-00001		200,000		6
000 FF-00001	000 bank		200,000	7
000 GG-00001	000 bank		200,000	8
000 HH-00001	000 bank		200,000	9
000 II-00001	000 bank		200,000	10
TOTAL		2,620,000	3,300,000	
Actual Balance (Open Total)			680,000	
Actual Balance			680,000	

円クリアリングWEBレポートサービス
(海外金融機関が当行に保有する円決済口座情報をインターネット上でリアルタイムに提供しています)